

令和6年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	33	学 校 名	静岡県立清水南高等学校 静岡県立清水南高等学校中部	記 載 者	山田 正訓
------	----	-------	------------------------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評 価	意見
ア	新学習指導要領に基づいた授業改善を進め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。	週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合:80% 「授業で力がついた」と答える生徒の割合:80%	B	B	家庭学習時間の減少については、生徒の勉強効率が上昇したとも考えることができるのではないかな。
		授業公開週間等の取組に満足する教員の満足度:70% 職員研修の外部講師による講演に対する教員の満足度:70%	A	A	「職員研修」と「校内研修」がどの研修を示すのか、明確化する必要がある。
		校内研修での学びを生かして授業改善に取り組んだ教員の割合:80%	A	A	取組目標内に、生徒と教員の目標を設定しない方がよい。
イ	中高6年間を見通したキャリア教育の充実を図る。	「自らの進路についてより深く考えるようになった」と答える生徒の割合:80%	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		講演、講義等の回数 :年間合計 10 回	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		大学、企業等の訪問・見学等回数:年間合計 10 回	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
ウ	自己有用感を高めるとともに、教育相談体制を充実させ、心身ともに健康な生徒を育成する。	「自分には良いところがある」と答える生徒の割合:70%	A	A	回答の割合を算出する際の母数を明確にする必要がある。
		「自ら進んであいさつをしている」と答える生徒の割合:80%	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		教員等による交通安全街頭指導の実施:学期に1回	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		長期欠席生徒(年間欠席 30 日以上)及び転退学者:0人	D	C	学校が現在行っている長期欠席生徒と保護者への働きかけをこれからも継続していくことが重要。経年比較しながら見守ることが大切ではないかな。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合:80%	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		「保健だより」の発行 :年間 12 回	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
エ	学校行事、部活動等の充実を図り、豊かな感性や表現力を育てる。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合:80%以上	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		読書活動の取組による生徒の充実度:70% 図書館貸出数:4000 冊以上	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		「学校生活が充実している」と	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。

様式第 5 号

		答える生徒の割合:80%			しい。
		研修旅行で「充実している」と答える生徒の割合:90%以上	A	A	回答の割合を算出する際の母数を明確にする必要がある。
		「協調性、表現力、集中力が身に付いた」と答える生徒の割合:80%	A	A	中等部での取組であることがわかるとよりよい。
		芸術鑑賞、校内演奏会、公開レッスン等実施回数 :年間計10回以上	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		美術鑑賞、実技講習会等実施回数:年間計10回以上	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
オ	郷土文化への理解を深めるとともに、地域社会や産学官の連携を推進する。	社会貢献活動や協働活動に参加したと答える生徒の割合:60%以上	C	B	学校が3月に実施予定の全校生徒による「南陵美化活動」は、社会貢献活動である。生徒が社会とのつながりを意識して活動するよう、教員の声掛けが必要である。今後も社会、や協働活動に参加できる機会を作り出している。
		海外交流行事等実施 :1回以上	A	A	全校生徒が参加する海外交流行事であることを明示する必要がある。
		実践的防災訓練実施 :年間3回 地域防災訓練参加率:中等部50%、高校(高3除く)45%	B	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		土曜オープンスクール参加者数: 年間 1,200 人 学校公式SNS発信数 :年間250件	B	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		平常の清掃、学期初めと終わりの清掃及び全校清掃の徹底	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
カ	安心・安全な教育環境の整備、事務業務の効率化、働き方改革を含めた業務改善を行う。	例月指導検査、会計・物品事務指導検査における文書指示、注意事項:0件	B	B	指導検査における文書指示、注意事項がないよう、取り組んで欲しい。
		学校施設、管理財産の安全確認の実施:月1回以上	A	A	今後も、継続して取り組んで欲しい。
		夏季休暇の取得率:100% 時間外勤務一ヶ月平均45時間以上の教職員数の割合を前年度より減少させる	C	C	時間外勤務一ヶ月平均 45 時間以上の教職員数の割合が約 20%増加している。減少させることが難しいことは十分承知しているが、それでもこの評価を、働き方を考える契機として欲しい。
		職員会議における報告の簡潔化と審議の効率化による勤務時間内での会議の終了	B	B	会議での勤務時間超過は失くして欲しい。